

33 道路沿線の美化とまちの案内標識を充実します

主要
施策

33-1. 快適な道路環境の創出
33-2. 道路標識・市内案内標識の充実

33-3. 地図の整備
33-4. 住居表示の推進

現況と
課題

○道路の街路樹や植樹帯は、公園や緑地をつなぐ緑の帯となり、緑豊かな沿道景観を創出しています。街路樹の補植や植樹樹^{※1}の適切な管理などを行い、道路の緑化とまち全体の景観の向上に努めていく必要があります。

○公共施設やまちの施設を案内する表示板などについて、利用者の利便性を高めるために駅や主要施設、主要な交差点での案内標識を充実していく必要があります。

基本
方針

街路樹の補植や植樹樹の適切な管理を進め、美しく快適な道路環境を創出していくとともに、目的地をわかりやすく案内する道路表示板・市内案内表示板などの設置を進めます。

主要
施策

33-1 快適な道路環境の創出

街路樹の植栽や植樹樹の適切な管理を行うなど国、道、関係団体と連携し、道路沿線の美化に努め、快適で美しい道路環境を創出します。

【主な事業】

- ・ウェルカムフラワーロード活動^{※2}の促進
- ・シーニックバイウェイ活動^{※3}の促進(再掲)

33-2 道路標識・市内案内標識の充実

見やすい標識表示や主要地点名標識設置を進めるとともに、市内案内標識を充実し、目的地をわかりやすく案内します。

【主な事業】

- ・道路標識の充実



※1 植樹樹、道路わきの街路樹を植えるための樹
 ※2 ウェルカムフラワーロード活動 豊後市街への入口となる道路に花を植えて市内へ来る人たちの歓迎する美化活動
 ※3 シーニックバイウェイ活動 地域の魅力を、道でつなぐながら地域住民と行政が連携し、観光をはじめとした地域資源の保全・改善を進める取り組み

33-3 地図の整備

地球上の位置を表す新基準（世界測地系）成果により土地境界が容易に復元できる地籍調査事業及び旧基準（日本測地系）で地図が調製されている区域の世界測地系へ変換するための測地成果2000変換事業を継続して実施します。

【主な事業】

- ・地籍調査事業
- ・測地成果2000変換事業

33-4 住居表示の推進

「わかりやすいまちづくり」を推進するために従来の地番を使った住所の表示から住居表示法に基づいた住所の表示を行います。

【主な事業】

- ・住居表示の実施



那み野地区

34 エコバス^{※1}など市内公共交通のネットワークを充実します

主要
施策

- 34-1. 市内交通ネットワークの充実
- 34-2. エコバスなどの事業運営
- 34-3. 駐車場・駐輪場対策の推進



現況と課題

○市内公共交通は、JR千歳線と民間2社のバス路線、農村地域を走る代替バス運行路線の他、平成14年11月より、えにわコミュニティバスが市内3駅を結ぶ3路線で運行を開始したことで、市内交通輸送体系が拡充されています。

○高齢者などの交通弱者や市民の多様な交通手段の確保の点から市内バス路線の重要性は高く、今後もバス路線の維持と利便性の向上を図る必要があります。

○JR千歳線は、大量性、定時性に優れ、環

境にもやさしい重要な公共交通機関として都市間交通を担っており、平成14年に快速列車の市内停車が実現したことで利便性が一層増えています。さらに、恵庭・恵み野・島松の3駅は、市街地の中央に位置していることから、鉄道とバス路線を結びつけながら市内交通ネットワークの充実を図っていくことが必要です。

○市民駐車場や駐輪場は、市内3駅に重点的に設置されていますが、利用者が多く狭隘状態にあります。また、駅前における放置自転車対策も課題になっています。

※1 エコバスは、えにわコミュニティバスの総称、市内の公共交通の充実、移動に制約のある市民の社会参加促進を目的として平成14年より運行開始

基本
方針

高齢化の進展や環境問題などの観点からも公共交通機関の役割は重要であり、鉄道やエコバスなどの利便性と利用の向上を図りながら市内公共交通のネットワーク網を維持するとともに、駅周辺における駐車場と駐輪場の整備と利用マナーの向上をめざします。

主要
施策

34-1 市内交通ネットワークの充実

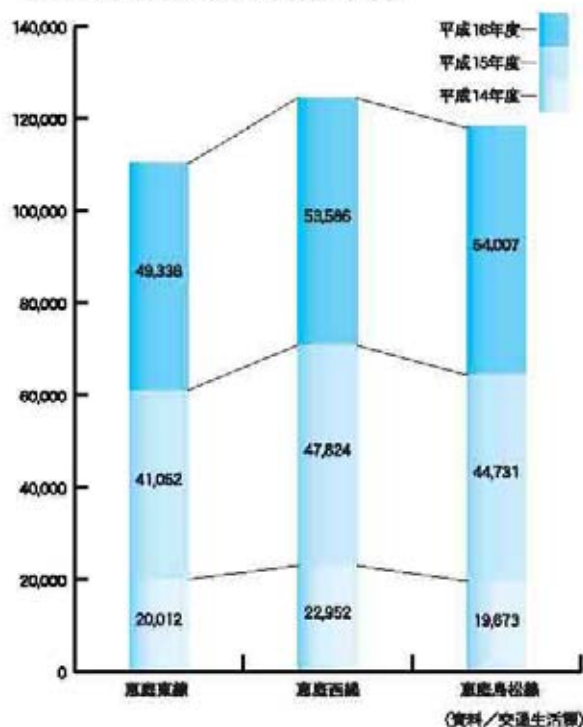
通勤・通学をはじめ市民の足となる市内バス路線やJR千歳線の利便性向上を図るとともに、高齢者など交通弱者の交通手段について研究し、市内交通ネットワークの充実を図ります。

【主な事業】

- ・交通バリアフリー特定事業（再掲）
- ・乗合タクシーシステムの調査・検討



■エコバスの利用状況の推移 単位/人



34-2 エコバスなどの事業運営

エコバス及び代替バス路線の安定的運営を図ります。

【主な事業】

- ・えにわコミュニティバス事業
- ・代替バス運行事業

34-3 駐車場・駐輪場対策の推進

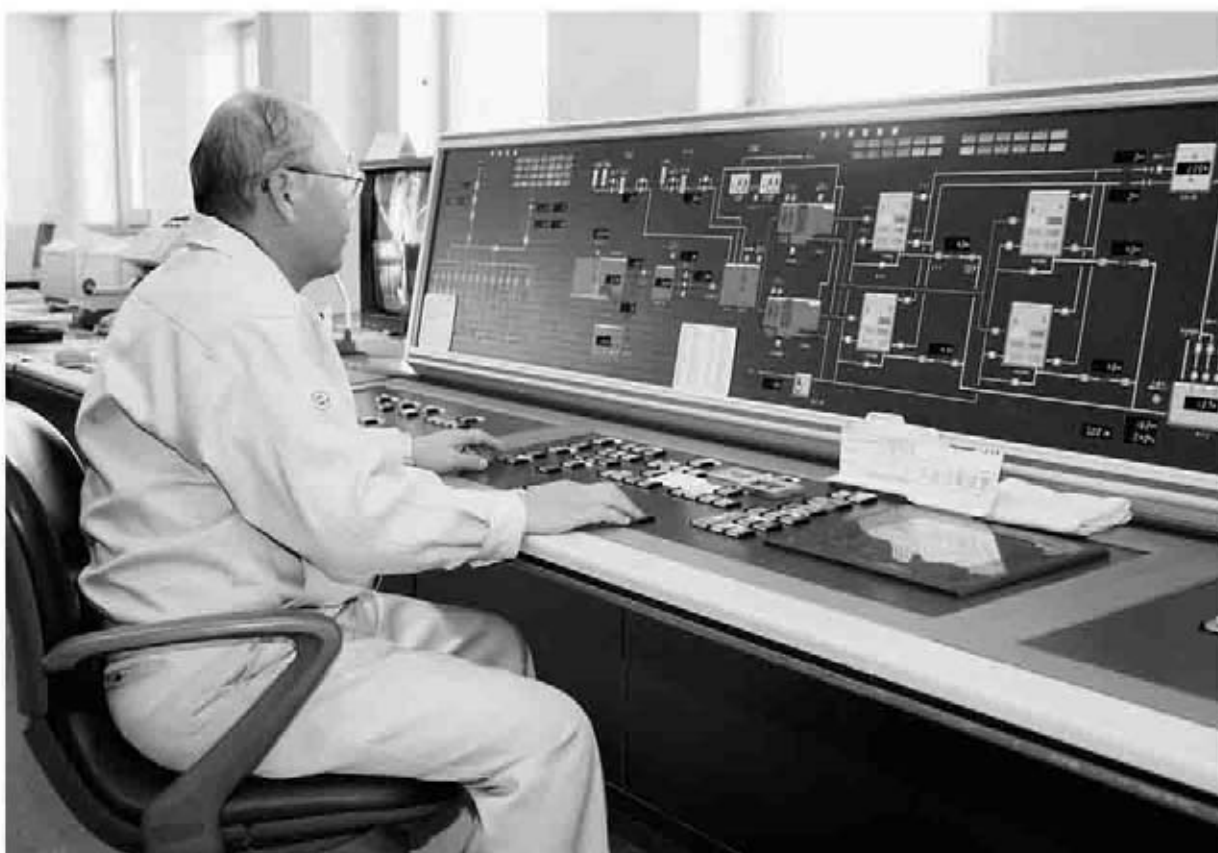
市民駐車場の計画的な整備と有料化について検討するとともに、自転車利用の促進と駐輪場の利用マナーを向上します。

【主な事業】

- ・市民駐車場・駐輪場の整備
- ・放置自転車対策の推進

35 水道水源の確保と水道施設整備を進めます

- 主要
施策**
- 35-1. 水資源の確保
 - 35-2. 上水道施設の整備
 - 35-3. 効率的な事業運営



浄水場中央監視室(後場)

現況と課題

○本市の水道は、漁川を水源とする石狩東部広域水道企業団^{※1}からの受水（日最大給水量24,000^m）と市浄水場によりまかっています。将来に向けた水需要への対応及び水道水の安定供給を図るため、千歳川を水源とする石狩東部広域水道企業団の拡張事業を進めています。

○清浄で低廉な水を供給していくため、漁川

の水質保全と配水管などの水道施設整備を計画的に実施していくとともに、経営の効率化を進めることが必要です。

基本方針

安全で良質な水の安定的な供給に必要な石狩東部広域水道企業団の拡張事業を促進するとともに、水道施設の更新を進めます。

※1 石狩東部広域水道企業団：北海道、江別市、千歳市、恵庭市及び北広州市の5団体で組織し、漁川ダムに水源地を確保し4市全域へ用水を供給

主要
施策

35-1 水資源の確保

安全で良質な水の安定供給に努めるとともに新たな水源を確保します。

【主な事業】

- ・石狩東部広域水道企業団拡張事業
- ・第3次拡張事業

35-2 上水道施設の整備

石綿管・老朽管の敷設替や機械設備の更新

を進めるとともに災害などに対応できる施設整備を進めます。

【主な事業】

- ・石綿管更新事業

35-3 効率的な事業運営

効率的な事業運営を進めて経営基盤の強化をはかるとともに、利用者へのサービス向上に努めます。

【主な事業】

- ・民間活力の導入



(磯川上流部)